



学生と町が交流する機会をもっと増やしてほしいです。私たちの意見や発想、行動力はきっと地域の力になれると思います。町内外の人が交流するイベントや場所にもっと学生が参加して、地域づくりの経験を積み、川根本町の未来を考える、当事者意識を育むことができますと思っています。



高齢者福祉を取り巻く環境は、町の人口減少に伴って厳しさを増しています。5年、10年先、高齢者が安心して暮らせる町づくりのためには福祉人材を安定的に確保する仕組みが必要です。事業所と行政と一緒に考え、小さな町だからこそできる希望の持てる仕組みを作っていきたいです。



子育て支援施設でいつでも育児の相談ができるし、ママ友たちと気兼ねなく情報交換ができて、一人で子育てをする大変さを感じずに過ごしています。子どもは遊ぶことでたくさんのことを学びます。近くに安全に遊べる公園や、地域の様々な方と交流ができるイベントなどを増やしてほしいと思います。



川根本町に移住して4年目を迎えました。「人」の温かさや四季に富んだ「土地」の豊かさの中で暮らせていることに、とても感謝しています。最近、町には移住者が増えていて、何かを始めたい人が挑戦できる環境があると感じています。そんな人と地域が交流できる場所や時間が、もっと増えていけばと期待しています。



20代で茶業に携わり、日々感じることは、繁忙期には人手が不足、それ以外の時期は安定した所得が見込めないということです。この問題を解決するために、行政と農家、事業者が一体となった人材派遣体制を作してほしいです。茶農家に人材が集まるようになれば、放棄茶園も減り、町の景観の改善にもつながるのではと思います。

地域の皆さんにインタビュー♪ 川根本町を

「あなたの声を聞かせてください」 こんな町に



林業の現場は、他業種と同様に高齢化が進んで、後継者が不足し、技術の継承が難しい状況です。山林から効果的に木材を切り出す方法として架線集材が最適ですが、この技術が失われつつあります。町の資源は「物」だけではありません。町の未来のために「人の技術」を次世代につないでいく体制づくりを進めてほしいです。



若い世代が「夢」を持って働くことができる町になってほしいです。川根本町に魅力を感じて「住みたい」と思ってもらえても、働ける環境がなければ移住や定住は実現しません。新しい特産品や川根本町にしかない、未来に残していける仕事を、町長が先頭に立って作ってほしいです。



最近、観光客が増えてにぎわいが生まれて来ていますが、それはほんの一部の地域だと感じています。1年を通して、観光客をこの町に呼び込むための情報発信や、観光地でのデマンドバスなどの移動手段を充実させてほしいです。地域ごとに特徴ある観光資源を、町内外の人に楽しんでもらうための仕組みを作してほしいです。



町には「やる気があって頑張っている人」や「これから頑張りたい人」がたくさんいます。行政にはそんな人たちの声をしっかり聞いてほしいと思います。町が主体となって既存事業者には持続可能な支援を、起業希望者には、その起業を応援するような、充実した体制づくりを進めてほしいと思います。



川根本町は、これまでにゾーホージャパン株式会社のサテライトオフィスを誘致した実績があり、外国人の方も町内で働いています。町づくりにグローバルな視点をもっと取り入れてほしいです。地域の人と外国人の方が交流できる場所を作って、誰もが暮らしやすい町になれば、川根本町がもっと魅力的な町になると思います。